

シルバー狭山

THE SAYAMA SILVER HUMAN RESOURCES CENTER

公益社団法人(埼玉県知事認定)
狭山市シルバー人材センター

〒350-1304
狭山市狭山台1丁目21番地
電話 04(2935)4312
FAX 04(2999)6116
e-mail sayama@sjc.ne.jp
http://www.sjc.ne.jp/sayama/



人間河川敷

鑑賞6班 孫田順弘氏 提供

2018

4
APR

目次	表紙(写真と目次).....	(1)
	平成30年度事業計画及び収支予算が決定.....	(2)(3)(4)(5)
	理事会・新会員紹介.....	(6)
	地区事業報告会活動報告・私.....	(7)
	働く仲間・文芸コーナー・訃報.....	(8)

平成 30 年度 事業計画

■ 基本方針 ■

当シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、平成 24 年に公益法人の認可を受け、平成 29 年度で 5 年が経過しました。この間、適正就業による契約先の見直しに伴う契約額の減少、定年延長による新規加入会員数の減少と会員の高齢化に伴う退会による会員数の減少が続きましたが、昨年度は請負契約額ベースで前年度実績を上回り、会員数でも前年度末から微増という状況であり、ようやく明るい兆しが見えてきました。

国においては、平成 28 年度に「1 億総活躍プラン」を掲げ、保育等の就業機会の提供に積極的に取り組むシルバー人材センターに重点的に財政支援を行うなど、高齢者人材の活用に向け積極的に舵を切ったところであり、当センターとしてもその実現を目指し、引き続き会員の就業に相応しい業務を創出するとともに、公平な就業機会の確保を図っているところであります。

このことを踏まえて平成 30 年度は、「会員の増強」「就業場所の確保」「安全・適正就業の推進」「事務局体制の充実強化」の 4 本の柱を基本とし、会員の働きがい、生きがいをめざします。

引き続き、狭山市をはじめ民間事業所・一般家庭・各団体等のご理解とご協力を頂き、役員職員が一致団結して事業の執行にあたります。

■ 活動指針 ■

1. 新規会員加入促進

センター事業を円滑かつ安定的に行うためには会員加入の促進が必要であることから、次の施策を実施します。

- ① 会員募集説明会の拡大実施 事務所、狭山市駅前施設、公民館 2 か所で開催を実施し、成果が上がったことから、さらに説明会の機会を拡大します。
- ② 自治会等への働きかけ 昨年度一部自治会に出向き、PR 活動を実施したところ大きな成果が得られたことから、地域を拡大しシルバー会員募集の広報活動を行います。
- ③ 女性会員の募集強化 女性限定の説明会や女性会員が未入会の仲間を誘って参加できるイベントの実施など女性が入会しやすい環境づくりを進め、女性会員の割合 30% を目指します。
- ④ 広報媒体の活用 市の広報紙や新聞の折り込みチラシ等を活用し、会員加入の PR 活動を推進します。

2. 就業開拓の推進

財政基盤の強化・会員の増強には、就業先の確保・受注量の増加が不可欠なことから、就業開拓の推進に向け、次の施策を実施します。

- ① 就業機会の確保 一般家庭向けに自治会回覧の活用やチラシのポスティングなどを通じ、新たな顧客の獲得に務めます。
- ② 介護保険事業の強化 介護予防・日常生活支援総合事業は、民間事業者の撤退などによりセンターの役割が増加しています。事業スタッフの組織化を図り、更なる事業の拡大発展に務めます。
- ③ 新規独自事業の開拓 新たに絵手紙教室を開講するとともに、引き続き会員の技能を生かした独自事業の更なる開設を目指し、調査研究を進めます。
- ④ 役員による企業訪問 工業会の会合等に出向き、需要が見込める新規事業所などを積極的に開拓します。

3. 安全・適正就業の推進と事故防止対策

安全就業は全会員の願いであり、会員が安全に就業できるよう安全意識の高揚と事故防止を目的として、次の事業を行います。

- ①安全講習会の開催 交通安全講習会・熱中症対策講習会・普通救命講習会など年間事業の一環として各種講習会を開催します。
- ②安全パトロールの強化 定期・不定期に就業現場を訪問し、安全パトロールを実施します。
- ③特定健康診査受診の奨励 会員が健康で就業できるよう100%の受診率を目指します。
- ④職群別安全・適正就業マニュアルの順守と点検 職群別班長会議を定期的に開催し、安全・適正就業マニュアルの確認と徹底を図ります。

4. 事務局体制の充実強化

センター事務局は、事業を円滑に進めるため、適正な人員配置の下で業務の執行に務めます。

- ①理事の役割の強化 埼玉県シルバー人材センター連合等が開催する理事研修会及び講習会等に積極的に参加し、研鑽に務めます。
- ②他市町のシルバー人材センターとの交流 他センターとの交流・情報交換に努め、事業運営の充実を図ります。
- ③個人情報保護の徹底 特定個人情報を始めとするセンターが保有する個人情報の漏えい、滅失、き損の防止など法令の順守と研修体制の強化に努め安全管理の徹底を図ります。

5. 財政基盤の安定

補助金の減額が続く中、経営基盤の安定を図るため、次の施策を実施します。

- ①シルバー事業拡大 「請負・委任業務」及び「シルバー派遣業務」の新規開拓を一層促進するとともに平成29年度より開始した「介護予防・生活支援総合事業」の拡大に努め、補助金外の収益拡大を図ります。
- ②自主事業の検討 地域社会のニーズに応えるべき新たな自主事業を進めてまいります。
- ③経費の削減 事務経費や管理費をよく精査し、効率の良い事業運営に努めます。

6. 地域貢献活動の推進

「公益法人」としての使命を認識し、地域への貢献活動に積極的に参加します。

- ①公共的催事への積極的参加 市道クリーン作戦、七夕まつり、商工祭等の公共的催事に積極的に参加します。
- ②地区行事への参加 センターが所在する狭山台地区の年2回の一斉清掃や元気プラザでの催事等に参加するとともに各地区の夏祭り等の地区行事に参加し、センターの知名度の向上を図るとともに地区との交流を図ります。

7. その他

センター会員相互の交流を図るため、次の事業を実施します。

- ①会員作品展の開催 会員の特技趣味を生かした会員作品展を11月中旬の三日間 元気プラザエントランスホールにおいて、開催します。
- ②シルバーボランティア活動の実施 10月13日(土)にシルバーボランティア活動として、元気プラザ構内の除草作業を行い、その後会員表彰式と交通安全講習会を実施します。

■収支予算書■

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで 単位:円

科 目	平成 29 年度当初予算	平成 30 年度当初予算	対前年度当初予算比較
1. 一般正財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	412,037,000	419,263,000	7,226,000
受取配分金	364,551,000	372,454,000	7,903,000
受取材料費等	15,471,000	14,677,000	-794,000
受取事務費	32,015,000	32,132,000	117,000
労働者派遣事業等受託収益	1,141,000	3,823,000	2,682,000
労働者派遣事業等受託収益	1,141,000	3,823,000	2,682,000
介護予防生活支援総合事業収益	7,027,000	2,462,000	-4,565,000
介護予防生活支援総合事業収益	6,934,000	2,216,000	-4,718,000
介護予防生活支援利用者負担金収益	693,000	246,000	-447,000
有料職業紹介事業受託収益	5,000	5,000	0
有料職業紹介事業受託収益	5,000	5,000	0
受取会費	3,052,000	3,076,000	24,000
正会員受取会費	3,048,000	3,072,000	24,000
特別会員受取会費	4,000	4,000	0
賛助会員受取会費	0	0	0
受取補助金等	23,560,000	22,400,000	-1,160,000
受取連合交付金	11,780,000	11,200,000	-580,000
受取(基)補助金			0
受取(市)補助金	11,780,000	11,200,000	-580,000
受取補助金等振替額			0
受取負担金	0	0	0
受取負担金			0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金			0
特定資産運用益	10,000	10,000	0
特定資産受取利息	10,000	10,000	0
雑収益	134,000	77,000	-57,000
受取利息	9,000	9,000	0
雑収益	125,000	68,000	-57,000
経常収益計	447,566,000	451,116,000	3,550,000
(2) 経常費用			
事業費	437,062,000	440,581,000	3,519,000
支払配分金	364,551,000	373,827,000	9,276,000
支払材料費等	15,471,000	14,677,000	-794,000
支払介護配分金	5,280,000		-5,280,000
役員報酬	1,632,000	1,632,000	0
給料手当	17,600,000	17,844,000	244,000
臨時雇賃金	13,152,000	13,362,000	210,000
法定福利費	2,712,000	2,758,000	46,000
退職給付費用	883,000	960,000	77,000
福利厚生費	209,000	166,000	-43,000
会議費	150,000	165,000	15,000
旅費交通費	52,000	42,000	-10,000
通信運搬費	815,000	935,000	120,000
減価償却費	82,000	80,000	-2,000
什器備品費	43,000	43,000	0
消耗品費	634,000	659,000	25,000
修繕費	8,000	8,000	0
印刷製本費	408,000	398,000	-10,000
光熱水料費	464,000	372,000	-92,000
賃借料	4,601,000	4,355,000	-246,000
保険料	2,347,000	1,993,000	-354,000
誌謝金	1,493,000	1,370,000	-123,000
租税公課	1,733,000	1,714,000	-19,000
支払負担金	318,000	369,000	51,000
委託費	1,832,000	2,184,000	352,000

科 目	平成29年度当初予算	平成30年度当初予算	対前年度当初予算比較
教材費		0	0
支払手数料	104,000	120,000	16,000
元氣プラザ維持管理費	480,000	461,000	-19,000
雑費	8,000	87,000	79,000
管内費	10,504,000	10,535,000	31,000
役員報酬費	1,068,000	956,000	-112,000
役員退職手当	48,000	54,000	6,000
給料手当	4,400,000	4,461,000	61,000
臨時雇賃金	348,000	348,000	0
法定福利費	678,000	689,000	11,000
退職給付費用	220,000	240,000	20,000
福利厚生費	52,000	41,000	-11,000
会議費	37,000	41,000	4,000
旅費交通費	13,000	10,000	-3,000
通信運搬費	203,000	233,000	30,000
減価償却費	0	0	0
什器備品費	10,000	10,000	0
消耗品費	229,000	239,000	10,000
修繕費	2,000	2,000	0
印刷製本費	11,000	62,000	51,000
光熱水料費	116,000	93,000	-23,000
賃借料	1,142,000	1,081,000	-61,000
保険料	143,000	498,000	355,000
諸謝金	250,000	220,000	-30,000
租税公課	433,000	248,000	-185,000
支払負担金	136,000	92,000	-44,000
委託費	806,000	751,000	-55,000
支払手数料	26,000	30,000	4,000
元氣プラザ維持管理費	120,000	115,000	-5,000
雑費	13,000	21,000	8,000
経常費用計	447,566,000	451,116,000	3,550,000
経常利益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価増減等			
特定資産評価増減等			
投資有価証券評価増減等			
評価損益等計			
2. 当期経常増減額	0	0	
経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額			
一般正味財産期首残高	59,334,082	59,009,074	
一般正味財産期末残高	59,334,082	59,009,074	
Ⅱ指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
受取補助金等			
受取(原)補助金			
収益計			
(2) 費用			
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振付額			
費用計			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ正味財産期末残高	59,334,082	59,009,074	

理事会

第 7 回理事会 2月20日(火)

◎議題

- (1) 会員の入会の承認について
 - (2) 平成 29 年度収支補正予算(案)について
 - (3) 平成 30 年度事業計画(案)について
 - (4) 平成 30 年度収支予算(案)について
 - (5) 平成 29 年度未回収金の処理について
 - (6) 平成 30 年度定時総会の日時・場所及び議決権行使の可否について
 - (7) その他
- ◎報告
- (1) 会員の 1 月入会承認結果について
 - (2) 1 月度事業実績について
 - (3) 1 月度月次収支報告について
 - (4) 部会報告
 - (5) その他

会員募集中



お知り合いをご紹介ください

シルバー人材センター

基本理念

- 自主(センターを私たちのものとして考えます)
- 自立(センターを私たちの力で育てます)
- 共働(私たち会員は共に仲良く働きます)
- 共助(私たち会員は互いに助け合います)

新会員紹介

平成 29 年 12 月 13 日(水)

平成 30 年 2 月 7 日(水)

(班) (氏名)

11 班	関谷 美代子	入間川東地区	7 班	野崎 美佐子	入間川西地区	3 班	佐藤 勝美	入間川西地区	3 班	阿久津 公勇	入間川東地区	13 班	尾崎 光男	入間川東地区	13 班	橋本 文男	入間川東地区	13 班	増沢 昌博
9 班	戸田 美千子	入間川東地区	2 班	三浦 義一	入間川西地区	4 班	坂本 順治	入間川西地区	2 班	当間 潤	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	12 班	石間 勲	入間川東地区	11 班	中間 昌博
5 班	黒崎 佐知恵	入間川東地区	2 班	金丸 浩一	入間川西地区	3 班	佐々木 史子	入間川西地区	3 班	当間 潤	入間川東地区	12 班	白井 義隆	入間川東地区	6 班	石間 勲	入間川東地区	13 班	増沢 昌博
4 班	日野 清公	入間川東地区	3 班	星 美喜男	入間川西地区	3 班	坂本 順治	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	7 班	古山 良夫	入間川東地区	11 班	中間 昌博
3 班	佐々木 史子	入間川東地区	2 班	福本 武文	入間川西地区	3 班	佐々木 史子	入間川西地区	6 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	5 班	豊田 章治	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子
3 班	阿久津 公勇	入間川東地区	3 班	福本 武文	入間川西地区	3 班	佐々木 史子	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	6 班	渡邊 仁實	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子
8 班	古林 静忠	入間川東地区	7 班	梅坪 仁實	入間川西地区	3 班	阿久津 公勇	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	8 班	梅坪 仁實	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子
7 班	服部 静雄	入間川東地区	6 班	渡邊 仁實	入間川西地区	3 班	阿久津 公勇	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	8 班	梅坪 仁實	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子
5 班	小宮 啓一	入間川東地区	6 班	渡邊 仁實	入間川西地区	3 班	阿久津 公勇	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	8 班	梅坪 仁實	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子
5 班	古田 重春	入間川東地区	6 班	渡邊 仁實	入間川西地区	3 班	阿久津 公勇	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	8 班	梅坪 仁實	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子
3 班	当間 潤	入間川東地区	6 班	渡邊 仁實	入間川西地区	3 班	阿久津 公勇	入間川西地区	5 班	古田 重春	入間川東地区	12 班	中村 雄二	入間川東地区	8 班	梅坪 仁實	入間川西地区	3 班	貞鍋 高美子

狭山台地区

事業報告会


 狭山台地区委員長
 河野吉男

狭山台地区事業報告会を1月28日(日)に狭山台四丁目自治会館にて行いました。

はじめに、小島事務局長よりシルバー人材センター全般の話と内容について説明があり、今までは請負業務が多かったが最近では契約業務も行うようになり、仕事が増えてきていますので、シルバー人材センターの人員募集をいろいろな所に行っている話がありました。

会員の人は仕事が多くなることは良いことであり、内容について質問等がありました。昼食をとりながら懇親会に入り、昨年同様、会員一人ひとりが自分の仕事の内容や趣味について話をし、和やかに時間が過ぎていきました。

話の中で一番盛り上がったのが、



四国八十八ヶ所の心癒される巡礼の旅の話でした。何人かの人が巡礼に行ってきた話がありました。夢野の基礎知識からお遍路の心得や、四国八十八ヶ所ツアーの話がありました。巡礼の服装や巡礼用品、金剛杖等の話など、次から次へといろいろな話が出ました。

私


 入曾7班
 室岡 文則

庭木と私

私は昭和15年5月狭山市堀兼にある農家に生まれました。10代の頃は親父の畑仕事をよく手伝いをしていました。昭和35年頃になると日本の企業も活発になり物流が良くなってきました。私は兄がいたため、将来は独立してゆく立場でもありました。時機を見てある企業に就職することができました。働きながら余暇を見つけては、その当時は盆栽ブームでもありました。友達が盆栽に熱中していたの姿を見て自ら入会を定めました。幹の枝の仕立形剪定方法も自習を重ねてまいりました。年月が過ぎて行くのは早いもので30代後半になってきました。自分なりに気の合う仲間と旅行に行いた

り、ゴルフ、カラオケを楽しみました。会社勤めは苦勞しましたが60歳定年まで働くことができました。退職後は趣味を生かした生活になりゴルフは月2回程程度、主に群馬・埼玉のゴルフ場が多かったです。70歳になってからは体力の限界を感じるようになり、自ら見切りをつけました。また、60歳の時にカラオケサークルを設立しました。今、私が代表者として現在16名で活動しています。月2回入曾公民館で各自好きな曲目を選んでレッスンを行います。今年で市民会館での発表会も16回目となり、川越へ入間 所沢のサークル仲間と視察を深めています。月日が過ぎていくのは早いもので、何気なく目に入ったのが毎月発行されている広報狭山を見てシルバー人材センターを知りました。入会することになりある人の紹介で庭木班で活動することになり、講習会・自習見習いを受けて現在は庭木の剪定作業に従事しています。日常はグループでの作業が多いためお互い協力し合い声を出して怪我人が出ないように十分注意しながら作業しています。今後も体力の続く限りお各様から喜ばれる仕事にできたらと思っています。

働く仲間

狭山社会福祉会館の

管理業務


 狭山 賢二
高橋 勲

「私たちが働く社会福祉会館は、七夕通りで面した交通至便の所です。従って、大変多くの団体の方が出入りしています。」

社会福祉会館の管理業務は、館内を利用される方の人・出館の受付業務（各部屋の鍵の受け渡し・回収等）、予約受付業務及び退館時の各部屋のチェック、そして、閉館時の各部屋の施錠、トイレ、火の元、冷暖房、消火、駐車場等そして全体の戸締り確認業務です。私たちの勤務は3人、月曜日から金曜日は夜間勤務の1人ずつの交代制、土曜日・日曜日は職員不在で、土曜日は2人交代制、日曜

日は1人での勤務体制です。

会館を利用される方は地元自治会、NPO法人、ボランティア団体等が中心で、特に、高齢者、障がい者（視覚、聴覚、車いす等）の方が多く、その対応は緊張が必要です。

夜間はシルバー1人ですので、日頃から「イザという時」の対応が絶えず願望にあります。その反面、元気な高齢者の方は気軽に声をかけて頂き、とても和やかな気分になれます。

職場の皆さんは、私たちシルバー1人に対して、とても温かく親切に接していただき、感謝に堪えません。私たち3人は仕事柄、一掃になれないので、年2回、暑気払いと忘年会を行い、酒を飲みながら情報交換をし、コミュニケーションを図っています。

狭山市では、現在公共施設の廃止・縮小が進む中で、社会福祉会館は地域の課題である地域福祉業務について実践するところであり、今後ますます利用価値が高まる施設です。

シルバー人材センターでは時代のニーズに沿った介護保険事業を

始めており、私たち、社会福祉会館の管理業務は、福祉の最前線に当たる、地元自治会、ボランティア団体等との接する機会が多く、いろいろな団体の活動は大いに学ぶところがあり、勤務をしながら福祉について勉強できる職場とも言えます。いずれは、私たち地域社会に戻った時には、その知識・経験を活かしていければと思います。

社会福祉会館は、講演会、ボランティアの紹介、サークル活動、車いすの貸し出し等を行っており、会員の皆さんもぜひお気軽にお立ち寄りください。

社会福祉会館は、講演会、ボランティアの紹介、サークル活動、車いすの貸し出し等を行っており、会員の皆さんもぜひお気軽にお立ち寄りください。



高橋 勲



田中 健隆

文芸コーナー

水書二冊 大阿久芳風

短歌二首

利用者の

足を支える

駐輪場

朝の挨拶

笑顔で文わす

傘寿でも

まだまだ元氣

駅前

駐輪場に

新しき友

訃報

林田 三郎様 67歳

平成30年1月2日

逝去（狭山台8班）

児玉 寿基様 79歳

平成30年2月5日

逝去

（入骨17班）



この広報は地域班長さんの協力により会員のみなさんに配付されています。